MAZDA

2026 年 11 月 18 日

マツダの「ドライバー異常時対応システム（DEA）」に関する発明が中国地方発明表彰の最高位賞「文部科学大臣賞」を受賞

－安全・安心なクルマ社会の実現に向け、「走る歓び」を支えるひと中心の技術が評価－

マツダ株式会社（以下、マツダ）は、「ドライバー異常時対応システム（DEA）」に関する「車両を安全に路肩に自動停車させるシステム」の発明（特許第 7508036 号、以下、本発明）が、その社会的意義と実用化の実績を評価され、公益社団法人発明協会が主催する令和 8 年度中国地方発明表彰において、最高位賞である「文部科学大臣賞」を受賞しました。あわせて、本発明の実施および事業化への貢献が評価され、代表取締役社長兼 CEO の毛籠勝弘が「実施功績賞」を受賞しました。



令和 8 年度中国地方発明表彰式（左から、クルマ開発本部 後藤多加志、西條友馬）

「ドライバー異常時対応システム（DEA: Driver Emergency Assist）」は、マツダが「ひと中心」の開発思想のもと、ドライバーが体調急変などにより運転継続が困難になった際に、車両を安全に停止させる先進安全技術です。DEA を構成する主な技術要素は以下の 2 つで、本発明はこの 2 項目に関するものです。

- ドライバーが体調異変などにより運転できない状態に陥ったことを判定する技術
- 道路の区画線や路肩の幅を検知したうえで、安定した車両挙動を保ち、可能な範囲で車両を路肩に寄せながら、減速・停車させる制御技術(走行中の道路の状況によって、車線内で停車させる場合もあります)

マツダは、自動車安全に関する目標として「自動車技術で対策が可能なものについては 2040 年を目処に、自社の新車が原因となる死亡事故ゼロを目指す」を掲げ、先進安全技術の研究開発と実用化を推進しています。高齢化社会における安全課題への対応に加え、年齢や性別を問わず、ドライバーや同乗者、周囲の歩行者など、すべての人にとって安全・安心なクルマ社会の実現を目指します。DEA の開発と実用化は、こうした取り組みを具現化するものの一つです。CX-60、CX-80 および新型 CX-5 への搭載を通じて、日本市場などでの社会実装を進めています。

マツダは今後も、「ひと中心」の価値観のもと、安全・安心を「走る歓び」を支える大切な価値と捉え、安全技術の進化を通じて、命を守るだけでなく、誰もが安心して行きたい場所へ行き、新たな体験や出会いを重ねられる社会の実現に貢献してまいります。

■令和8年度中国地方発明表彰の受賞概要

【文部科学大臣賞】

受賞対象：　「車両を安全に路肩に自動停車させるシステム」
（特許第 7508036 号、発明の名称：「車両制御システム」）

受賞者：　西條 友馬、小嶋 浩一、山下 良幸、辻 雄太、後藤 多加志、原田 翔次、多田 健太
（以上マツダ　クルマ開発本部）
濱田 隆史（Mazda North American Operations）
ほか 2 名

【実施功績賞】

受賞者：　毛籠 勝弘（マツダ株式会社　代表取締役社長兼 CEO）

■公益社団法人 発明協会について

公式ウェブサイト：
https://koueki.jiii.or.jp/

令和8年度中国地方発明表彰受賞者発表：
https://koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/R8/jusho_chugoku/index.html

■関連コンテンツ

MAZDA MIRAI BASE
「MAZDA CX-80 に搭載の安全技術 DEA に、開発主査が込めた想い。自家用車に「副操縦士」のような安心感を」(DEA の動作についての詳しいレポート記事)
https://www.mazda.com/ja/mazda-mirai-base/articles/20241202-cx80-dea/

「見つめるのは、評価の先の、たった一つの命 –家族の明日を守った、マツダの安全開発技術者たち–」(マツダの安全性能開発の裏側に迫ったレポート記事)
https://www.mazda.com/ja/mazda-mirai-base/articles/202609-thanksletter-safety/

ひとを想う価値創造
「安全の主役はドライバー」
・ マツダの安全思想についてのご紹介です。
https://www.mazda.com/ja/innovation/monozukuri/technology/safety/

「各市場におけるマツダ車の安全性能評価」
・ CX-60、CX-80 は JNCAP 総合評価でファイブスター賞を受賞しています。
https://www.mazda.com/ja/innovation/monozukuri/technology/safety/#inno_tec_safe01

以　上